



# 大船湾水産振興センター「復興板」

平成28年6月20日発行 第42号

## 1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

平成28年5月31日現在、管内の県営漁港関係施設にかかる災害復旧工事の進捗率は、60%となっています。

(平成28年5月31日現在)

	災害査定（再調査決定額）		発注		進捗状況		完成
	件数	本工事費 （千円）	件数	発注額 （千円）	出来高 （千円）	率 （%）	件数
漁港	243	36,257,282	237	33,476,338	30,467,060	84.0	175
漁港海岸	11	31,694,215	10	17,286,492	9,889,610	31.2	0
漁場	2	498,880	2	498,880	498,880	100.0	2
合計	256	68,450,377	248	51,261,710	40,855,550	59.7	177

完

「さけの子さっちゃん」はスマイル130プロジェクトに取り組んでいます。  
「130万人誰もが笑顔に」♪



### さっちゃん NEWS part1

#### ◆広田湾漁協、

#### 『いしかげ貝』初出荷！

6月19日、広田湾漁協では、「いしかげ貝」を初出荷しました。

殻長5.5cm以上に育った貝、1箱5kg入282箱が築地などの首都圏に向けて出発しました。

10月中頃までに67トンを出荷する予定です。



#### ★★★スマイル130（いちさんまる）プロジェクトについて★★★

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を（県外、世界に）届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の気持ちを盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、岩手のあるべき未来に追いつく復興を推進する取組みです。



## 2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況



「さけの子さっちゃん」は、大船渡水産振興センターのPRキャラクターです



### (1) 共同利用施設・養殖施設の復旧状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。

事業年度	施設名	事業主体
平成 26 年度	荷さばき施設 冷凍庫	広田湾漁業協同組合 大船渡湾冷凍水産加工業協同組合
平成 27 年度	漁具倉庫 定置番屋	広田湾漁業協同組合 越喜来漁業協同組合

### (2) 大船渡魚市場の水揚げ状況 (平成 28 年 1 月～5 月末累計)

出典：いわて大漁ナビ

H28 年 (震災後)		H27 年 (震災後)		H20～22 年平均 (震災前)		前年比 (H28/27)		H20～22 年 平均比	
数量 (t)	金額 (千円)	数量 (t)	金額 (千円)	数量 (t)	金額 (千円)	数量 (%)	金額 (%)	数量 (%)	金額 (%)
8,952	621,570	12,497	797,980	10,259	852,261	71.6	77.8	87.2	72.9

5月は主に、サバ類(430t、28,662千円)、ブリ(50t、9,700千円)、タイ(24t、17,393千円)、マイワシ(18t、2,145千円)、サワラ(14t、10,923千円)、タコ類(7.6t、3,009千円)、ほや(6.9t、819千円)、マダラ(5.1t、1,290千円)が水揚げされています。

### さっちゃん NEWS part2



#### ◆太平洋クロマグロ資源管理への取り組み 管内の大型定置網は、順番に休漁！

5月末から6月末にかけて、管内の大型定置網は、連続した10日間以上休漁するクロマグロの資源管理に取り組んでいます。

気仙地区では、6月が一年の中でもっともクロマグロの小型魚が水揚げされることから、漁獲抑制の効果をねらうものです。

また、すべての定置網が一斉に休漁にすると、クロマグロ以外の魚の水揚げもなくなり、魚市場や買受人、加工場など関係する人たちが困ることに。そうならないように休漁期間をずらして取り組んでいます。



#### ◆あわび稚貝を放流しています

管内の漁協では、大津波で被災した海域のあわび資源を回復するため、あわび稚貝を放流しています。放流したあわび稚貝は3～4年かけて漁獲サイズに育ちます。

あわび資源は、県の重要な水産物であり、漁業者にとって貴重な収入源です。一刻も早い資源回復が望まれます。



『復興板』に関するお問い合わせ先  
沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター

(担当 千田)  
岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階  
TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229  
E-mail:BG0004@pref.iwate.jp

